



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年 1月28日

上場会社名 株式会社岩手銀行 上場取引所 東
コード番号 8345 URL <https://www.iwatebank.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 岩山 徹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 小原 透 TEL 019-623-1111
配当支払開始予定日 —
特定取引勘定設置の有無 無
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	36,242	12.7	7,263	39.1	5,157	52.3
2024年3月期第3四半期	32,154	△14.4	5,218	△17.0	3,385	△35.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △4,088百万円 (— %) 2024年3月期第3四半期 8,454百万円 (— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	301.06	300.11
2024年3月期第3四半期	196.60	195.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,812,426	193,785	5.0
2024年3月期	3,929,595	199,436	5.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 193,718百万円 2024年3月期 199,215百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2025年3月期	—	60.00	—		
2025年3月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	38.0	6,500	53.8	378.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P. 5「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	18,497,786株	2024年3月期	18,497,786株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,307,145株	2024年3月期	1,432,291株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	17,131,463株	2024年3月期3Q	17,219,846株

(注) 期末自己株式数には、E S O P 信託が保有する当行株式数（2025年3月期3Q 238,900株、2024年3月期297,100株）を含めております。

また、期中平均株式数（四半期累計）を算定するにあたり、E S O P 信託が保有する当行株式の期中平均株式数（2025年3月期3Q 274,702株、2024年3月期3Q 138,831株）を控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当行としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

※〔説明資料〕2025年3月期第3四半期決算の概要

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期の経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金などの資金運用収益や役務取引等収益が増加したことなどから、前年同期比40億88百万円増の362億42百万円となりました。

経常費用は、預金利息などの資金調達費用や国債等債券償還損などのその他業務費用が増加したことなどから、前年同期比20億43百万円増の289億78百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比20億45百万円増の72億63百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同17億72百万円増の51億57百万円となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期の財政状態につきましては、預金等（譲渡性預金を含む）は、公金預金が減少したことなどから、前連結会計年度末比1,133億円減少し3兆3,636億円となりました。

貸出金は、法人向け貸出や個人向け貸出が増加したことなどから、前連結会計年度末比925億円増加し2兆1,837億円となりました。

有価証券は、国債等の残高が増加したことなどから、前連結会計年度末比547億円増加し1兆1,942億円となりました。

（3）連結業績などの将来予測情報に関する説明

2024年11月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	563,765	342,112
コールローン及び買入手形	51,000	5,000
買入金銭債権	4,349	4,137
金銭の信託	5,722	5,994
有価証券	1,139,534	1,194,285
貸出金	2,091,126	2,183,722
外国為替	3,899	3,761
その他資産	55,346	59,349
有形固定資産	14,051	13,748
無形固定資産	1,854	1,417
退職給付に係る資産	9,459	9,940
繰延税金資産	83	272
支払承諾見返	4,158	3,870
貸倒引当金	△14,757	△15,187
資産の部合計	3,929,595	3,812,426
負債の部		
預金	3,236,803	3,250,280
譲渡性預金	240,126	113,321
借入金	231,077	230,969
外国為替	38	21
その他負債	13,903	19,418
役員賞与引当金	25	26
退職給付に係る負債	67	221
役員退職慰労引当金	18	14
睡眠預金払戻損失引当金	136	95
偶発損失引当金	281	322
繰延税金負債	3,524	78
支払承諾	4,158	3,870
負債の部合計	3,730,159	3,618,641
純資産の部		
資本金	12,089	12,089
資本剰余金	5,666	5,666
利益剰余金	167,955	171,307
自己株式	△4,920	△4,524
株主資本合計	180,791	184,539
その他有価証券評価差額金	17,779	6,893
繰延ヘッジ損益	50	1,647
退職給付に係る調整累計額	594	636
その他の包括利益累計額合計	18,424	9,178
新株予約権	220	67
純資産の部合計	199,436	193,785
負債及び純資産の部合計	3,929,595	3,812,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	32,154	36,242
資金運用収益	21,273	25,099
(うち貸出金利息)	13,584	15,303
(うち有価証券利息配当金)	7,496	9,122
役務取引等収益	7,190	7,333
その他業務収益	3,176	3,309
その他経常収益	513	499
経常費用	26,935	28,978
資金調達費用	449	1,687
(うち預金利息)	72	1,166
役務取引等費用	2,674	2,773
その他業務費用	4,609	5,021
営業経費	18,473	18,582
その他経常費用	728	912
経常利益	5,218	7,263
特別利益	97	31
固定資産処分益	97	31
特別損失	181	58
固定資産処分損	113	25
減損損失	67	33
税金等調整前四半期純利益	5,134	7,237
法人税、住民税及び事業税	1,388	1,803
法人税等調整額	360	276
法人税等合計	1,749	2,079
四半期純利益	3,385	5,157
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,385	5,157

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,385	5,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,774	△10,886
繰延ヘッジ損益	1,144	1,597
退職給付に係る調整額	150	41
その他の包括利益合計	5,069	△9,246
四半期包括利益	8,454	△4,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,454	△4,088

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

所得に対する法人税、住民税及び事業税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとされました。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業・ 信用保証業	計				
経常収益								
外部顧客に対する 経常収益	28,047	3,263	655	31,965	272	32,238	△84	32,154
セグメント間の 内部経常収益	384	6	280	671	87	758	△758	—
計	28,431	3,269	935	32,636	360	32,997	△843	32,154
セグメント利益	5,183	94	240	5,518	10	5,529	△310	5,218

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティング業務・地域商社業務・投資業務を含んでおります。
3. 外部顧客に対する経常収益の調整額は、貸倒引当金繰入額等の調整であります。
4. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

銀行業セグメントにおいて、営業利益の減少によりキャッシュ・フローが低下した資産および地価が著しく下落した資産等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、67百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業・ 信用保証業	計				
経常収益								
外部顧客に対する 経常収益	31,898	3,313	619	35,830	411	36,242	—	36,242
セグメント間の 内部経常収益	413	7	258	679	93	772	△772	—
計	32,311	3,320	877	36,510	504	37,014	△772	36,242
セグメント利益又は 損失 (△)	7,310	△14	187	7,484	116	7,601	△337	7,263

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティング業務・地域商社業務・投資業務を含んでおります。
3. セグメント利益又は損失の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

銀行業セグメントにおいて、営業利益の減少によりキャッシュ・フローが低下した資産および地価が著しく下落した資産等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、33百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産等に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,385百万円	1,376百万円

〔説明資料〕

2025年3月期第3四半期決算の概要

1. 損益の状況

連結

2. 損益の状況

単体

3. 貸出金

単体

4. 預金等・預り資産

単体

5. 有価証券

単体

6. 与信費用・金融再生法開示債権

単体

※2024年12月末時点の自己資本比率（国内基準、連結および単体）
は現在算定中であり、確定次第、開示する予定であります。

1. 損益の状況

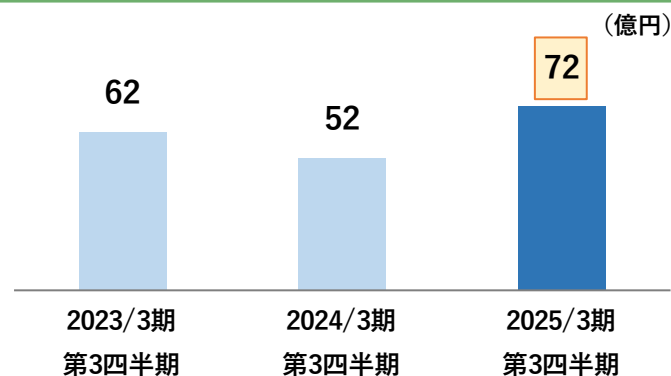
連結

(単位：百万円)

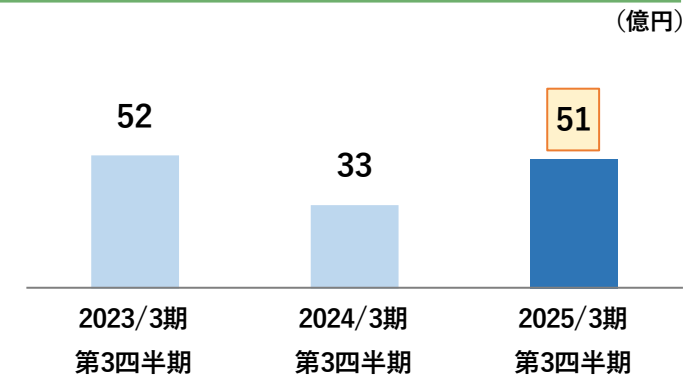
	2025年3月期		2024年3月期 第3四半期
	第3四半期	前年同期比	
経常収益	36,242	4,088	32,154
資金運用収益	25,099	3,826	21,273
うち貸出金利息	15,303	1,719	13,584
うち有価証券利息配当金	9,122	1,626	7,496
役務取引等収益	7,333	143	7,190
その他業務収益	3,309	133	3,176
その他経常収益	499	△ 14	513
経常費用 (△)	28,978	2,043	26,935
資金調達費用	1,687	1,238	449
うち預金利息	1,166	1,094	72
役務取引等費用	2,773	99	2,674
その他業務費用	5,021	412	4,609
営業経費	18,582	109	18,473
その他経常費用	912	184	728
経常利益	7,263	2,045	5,218
特別損益	△ 26	57	△ 83
税金等調整前四半期純利益	7,237	2,103	5,134
法人税等合計	2,079	330	1,749
四半期純利益	5,157	1,772	3,385
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,157	1,772	3,385

連結ベース		
増収増益	※前年同期比	
経常収益	362億円	+ 40億円 ↑
・ 貸出金利息や有価証券利息配当金などの資金運用収益や役務取引等収益が増加したことなどから、経常収益は増収となりました。		
経常費用	289億円	+ 20億円 ↑
・ 預金利息などの資金調達費用や国債等債券償還損などのその他業務費用および貸倒引当金繰入額が増加したことなどから、経常費用は前年を上回りました。		
経常利益	72億円	+ 20億円 ↑
・ 上記により、経常利益は増益となりました。 ・ 通期業績予想（96億円）に対する進捗率は75.6%となっております。		
親会社株主に帰属する四半期純利益	51億円	+ 17億円 ↑
・ 上記により、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。 ・ 通期業績予想（65億円）に対する進捗率は79.3%となっております。		

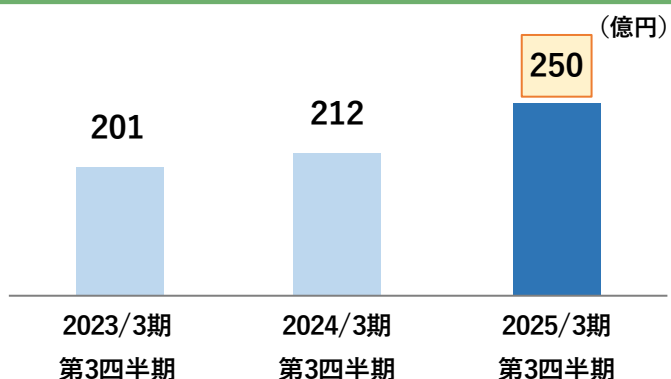
経常利益の推移



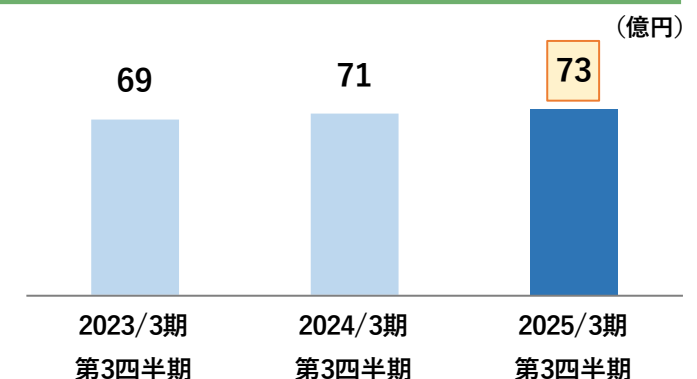
親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



資金運用収益の推移



役務取引等収益の推移



2. 損益の状況

単体

（単位：百万円）

	2025年3月期		2024年3月期 第3四半期
	第3四半期	前年同期比	
経常収益	32,311	3,880	28,431
業務粗利益	25,161	2,299	22,862
資金利益	23,766	2,620	21,146
うち貸出金利息	15,325	1,724	13,601
うち有価証券利息配当金	9,451	1,652	7,799
役務取引等利益	3,411	△ 23	3,434
その他業務利益	△ 2,016	△ 298	△ 1,718
うち国債等債券損益	△ 1,064	△ 319	△ 745
経費（△）	17,512	325	17,187
うち人件費	9,451	80	9,371
うち物件費	7,049	242	6,807
実質業務純益 ※1	7,649	1,974	5,675
コア業務純益 ※2	8,713	2,293	6,420
除く投資信託解約損益	8,599	2,468	6,131
一般貸倒引当金繰入額（△） ①	64	420	△ 356
業務純益	7,585	1,554	6,031
臨時損益	△ 274	574	△ 848
うち不良債権処理額（△） ②	469	△ 405	874
うち貸倒引当金戻入益 ③	—	—	—
うち株式等関係損益	△ 19	73	△ 92
経常利益	7,310	2,127	5,183
特別損益	△ 26	57	△ 83
税引前四半期純利益	7,284	2,185	5,099
法人税等合計	1,932	281	1,651
四半期純利益	5,351	1,904	3,447
与信費用（①＋②＋③）	533	15	518

※1 実質業務純益＝業務粗利益（資金利益＋役務取引等利益＋その他業務利益）－経費

※2 コア業務純益＝業務粗利益－経費－国債等債券損益

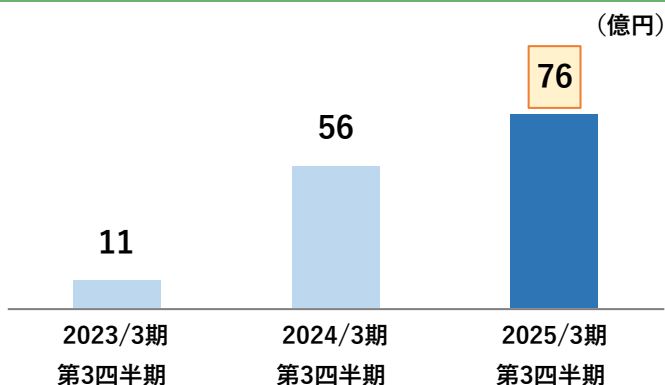
単体ベース

増収増益

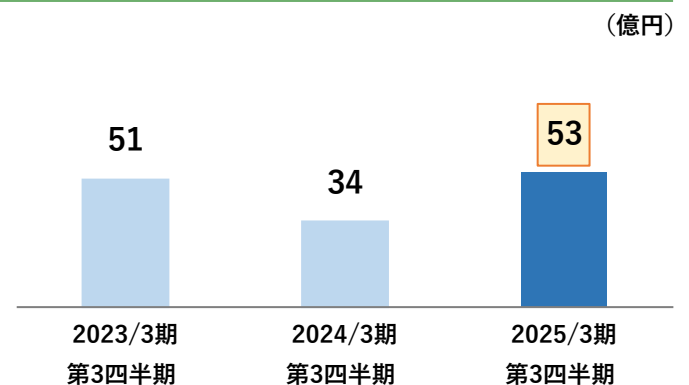
※前年同期比

経常収益	323億円	+38億円	↗
・貸出金利息や有価証券利息配当金などの資金運用収益が増加したことなどから、経常収益は増収となりました。			
業務粗利益	251億円	+22億円	↗
・貸出金利息や有価証券利息配当金などの資金利益が増加したことから、業務粗利益は前年を上回りました。			
経 費	175億円	+3億円	↗
・人件費、物件費がそれぞれ増加し、経費は前年を上回りました。			
実質業務純益	76億円	+19億円	↗
・上記により、実質業務純益は増益となりました。			
経常利益	73億円	+21億円	↗
・上記により、経常利益は増益となりました。			
四半期純利益	53億円	+19億円	↗
・上記により、四半期純利益は増益となりました。			
与信費用	5億円	+0.1億円	↗
・一般貸倒引当金繰入額の増加などから、与信費用は前年をわずかに上回りました。			

実質業務純益の推移



四半期純利益の推移



3. 貸出金

単体

貸出金の状況

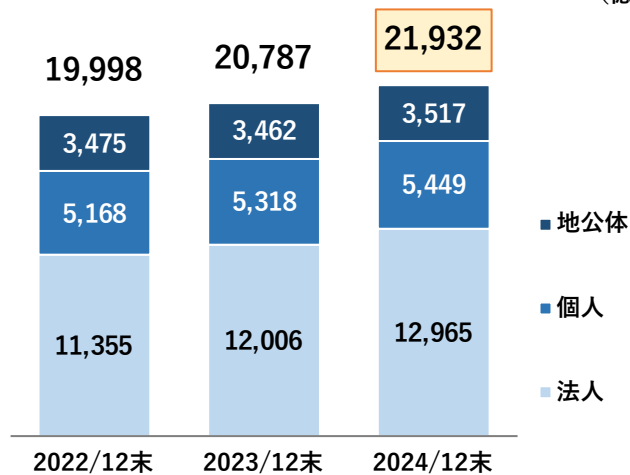
- 貸出金の期末残高は、法人および個人、地方公共団体向け貸出がそれぞれ増加したことから、前年同期比 1,145 億円(5.5%)増加の 2 兆 1,932 億円となりました。
- また、平均残高は、同 940 億円(4.5%)増加の 2 兆 1,405 億円となりました。

(単位：億円、%)

	2022年 12月末	2023年 12月末	2024年 12月末	前年同期比増減額		前年同期比増減率		2024年 3月末
貸出金末残	19,998	20,787	21,932	1,145		5.5		20,993
貸出金平残	19,684	20,465	21,405	940		4.5		20,556

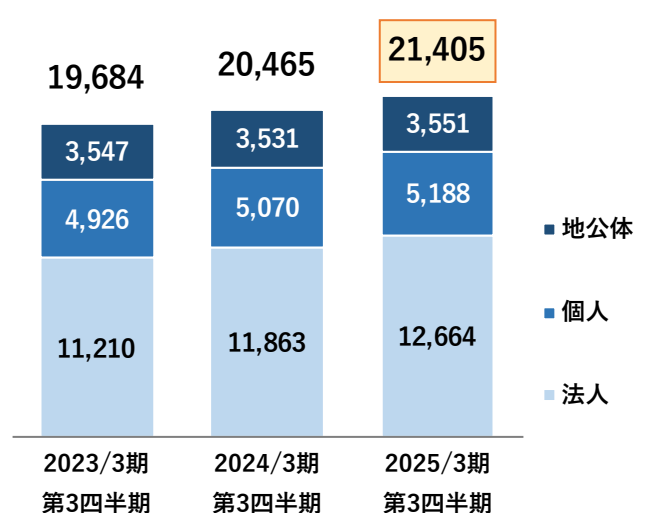
貸出金末残の推移

(億円)



貸出金平残の推移

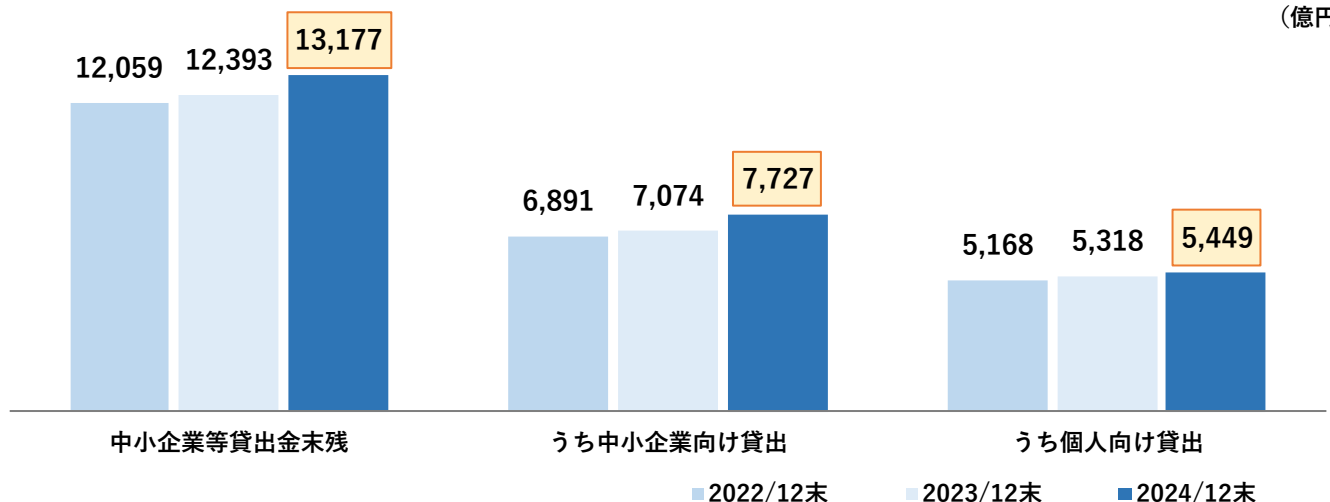
(億円)



中小企業等貸出金の状況

- 中小企業等貸出金の期末残高は、前年同期比 784 億円増加の 1 兆 3,177 億円となりました。
- このうち、中小企業向け貸出は 同 653 億円増加の 7,727 億円、個人向け貸出は 同 131 億円増加の 5,449 億円となりました。

(億円)



4. 預金等・預り資産

単体

預金等(譲渡性預金を含む)の状況

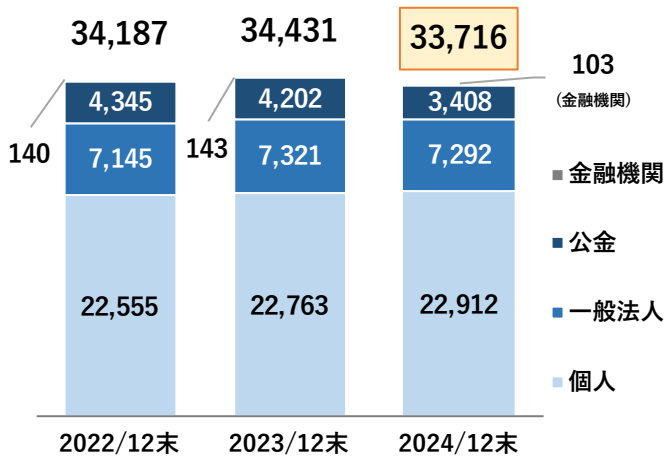
- 預金等の期末残高は、公金預金や法人預金が減少したことなどから、前年同期比 715 億円 (2.0%) 減少の 3 兆 3,716 億円となりました。
- また、平均残高は、同 544 億円(1.5%)減少の 3 兆 3,977 億円となりました。

(単位：億円、%)

	2022年 12月末	2023年 12月末	2024年 12月末	前年同期比増減額		前年同期比増減率		2024年 3月末
預金等末残	34,187	34,431	33,716	△	715	△	2.0	34,852
預金等平残	34,196	34,521	33,977	△	544	△	1.5	34,385

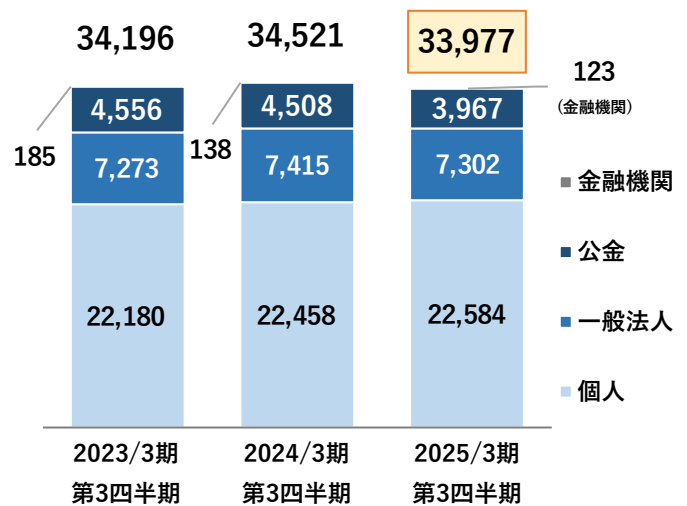
預金等末残の推移

(億円)



預金等平残の推移

(億円)

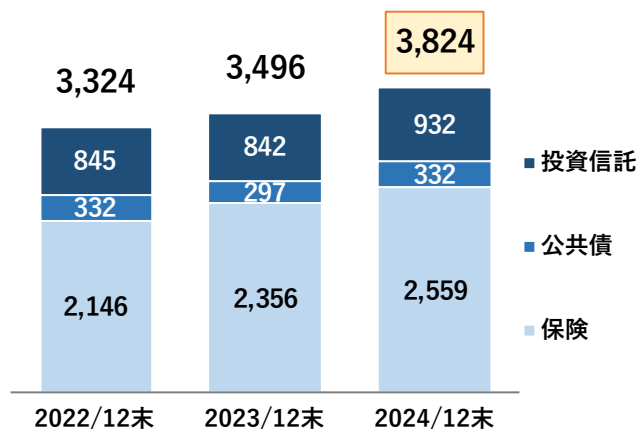


預り資産の状況

- 預り資産の期末残高は、投資信託や公共債、保険がそれぞれ増加したことから、前年同期比 328 億円増加の 3,824 億円となりました。
- また、期中販売額は、投資信託と公共債が前年同期を上回りました。

預り資産残高の推移

(億円)



※ 保険については有効契約残高を記載しております。

預り資産販売額

(単位：億円、%)

	2025年3月期 第3四半期	前年同期比	
		増減額	増減率
販売合計	673	142	26.7
投資信託	315	96	43.8
公共債	121	52	75.3
保険	236	△ 7	△ 2.8

5. 有価証券

単体

有価証券の状況

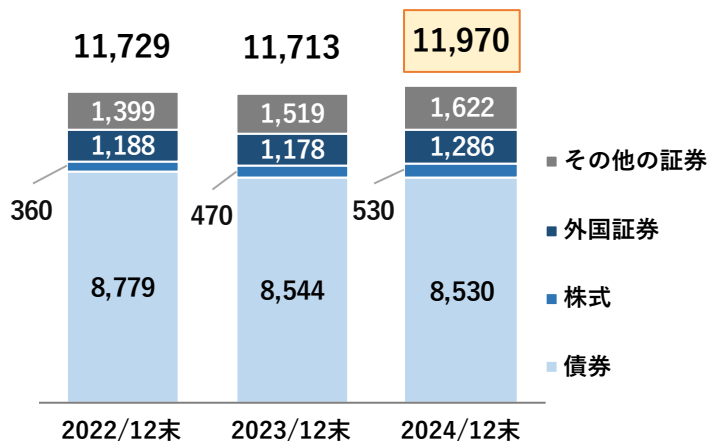
- 有価証券の期末残高は、外国証券が増加したことなどから、前年同期比 257 億円(2.1%) 増加の 1 兆 1,970 億円となりました。
- 平均残高は、同 1 億円減少の 1 兆 1,668 億円となりました。
- 有価証券の評価差額(含み益)は 84 億円となりました。

(単位：億円、%)

	2022年 12月末	2023年 12月末	2024年 12月末	前年同期比増減額		前年同期比増減率	2024年 3月末
有価証券末残	11,729	11,713	11,970	257		2.1	11,421
有価証券平残	11,799	11,669	11,668	△ 1		0.0	11,614

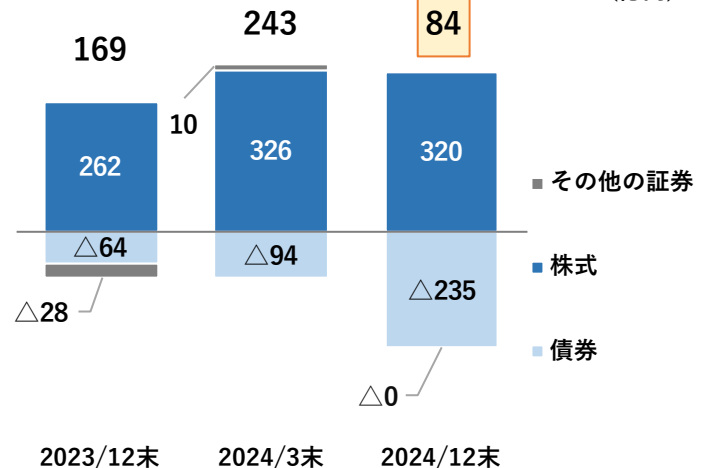
有価証券末残の推移

(億円)



有価証券の評価差額(含み益)の推移

(億円)



有価証券関係損益

- 有価証券関係損益は、国債等債券損益が △10.6 億円（前年同期比 △3.1 億円）、株式等損益が △0.19 億円(同 +0.73 億円)となり、総体では △ 10.8 億円(同 △2.4 億円)となりました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期		2024年3月期
			前年同期比		
有価証券関係損益	△ 37	△ 837	△ 1,084	△ 247	△ 317
国債等債券損益	△ 4,878	△ 745	△ 1,064	△ 319	△ 1,210
売却益	1,181	—	1	1	—
償還益	—	—	—	—	—
売却損 (△)	1,092	476	462	△ 14	935
償還損 (△)	4,967	268	603	335	274
償却 (△)	—	—	—	—	—
株式等損益	4,840	△ 92	△ 19	73	893
売却益	5,007	37	79	42	1,022
売却損 (△)	130	123	94	△ 29	123
償却 (△)	35	6	4	△ 2	6

6. 与信費用・金融再生法開示債権

単体

与信費用の状況

- 与信費用は、前年同期比 0.1 億円増加の 5.3 億円 となりました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期		2024年3月期
			第3四半期	前年同期比	
与信費用	83	518	533	15	1,594
一般貸倒引当金繰入額	—	△ 356	64	420	△ 449
不良債権処理額	137	874	469	△ 405	2,043
貸出金償却	—	—	—	—	153
個別貸倒引当金繰入額	—	787	339	△ 448	1,791
偶発損失引当金繰入額	120	86	124	38	90
債権売却損	17	—	5	5	8
貸倒引当金戻入益 (△)	54	—	—	—	—
偶発損失引当金戻入益 (△)	—	—	—	—	—

金融再生法開示債権の状況

- 金融再生法開示債権は、前年度末比 39 億円増加の 554 億円 となりました。
 不良債権比率は、同 0.08 点上昇し 2.50% となりました。

(単位：億円)

	2023年 12月末	2024年 3月末	2024年 12月末		
			12月末	前年同期比	前年度末比
金融再生法開示債権	519	515	554	35	39
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	59	79	79	20	0
危険債権	373	348	379	6	31
要管理債権	86	87	94	8	7

金融再生法開示債権の推移

(億円)

総与信額に対する比率の推移

(%)

